

# うきだ

学校だより 第467号

令和5年7月14日(金)

岡山市立浮田小学校 東区沼 1725 ☎297-2017

<http://www.city-okayama.ed.jp/~ukitas/>



HPはこちら

うなずく子 (学力向上)



きもちのよい子 (豊かな心)



たくましい子 (健康な体と心)



## 5年生米作り体験

今年度も5年生が、総合的な学習の時間に地域の方の指導を受けて、昔ながらの米作り体験をしています。自分たちで田植えに使う苗を育てるところから始め、田んぼに肥料をまき、しろかきをしました。(この作業は、地域の方に機械で行っていただきました。)



そして、山陽新聞にも記事が載った「足踏み水車」で田んぼに水を入れました。地域の方が組み立ててくださった木製の水車を足で回して用水路の水を田んぼに入れます。コツをつかんだ子どもたちは上手に水車を回して田んぼを水でいっぱいにしました。

3日後に、田植えをしました。泥の感触を楽しみながら、田んぼ一面に苗を植えました。



### 読者のページ

#### 児童の足踏み水車体験大切

加賀 義 55(長崎県諫早市 教員)

岡山市東区沼の浮田 込み、回転させて水をと言われ、あこがれの小5年生19人が、昔なくみ上げたところで、当時の一製品でした。当時の一あることに感謝したいから足踏み水車を使います。一般家庭には、それすら

不便だった時代の苦も無いのが普通だったに水を入れる作業を体 労を知ることは、大事 ことが分かります。 水車は不便ですが、 水車は不便ですが、 水車は不便ですが、 水車は不便ですが、 水車は不便ですが、

のボランティアが、か 科学技術は日進月歩で 水車のない時代と比べて地域で使っていた。現在、70代の方々と、「足で踏むだけ3基の木製水車用水路が子どもの頃には、手で水がくめる。なんて路に設置。児童は1人 レビと洗濯機、電気冷 便利なんだろう」と当 ずつ水車に乗って踏み 蔵庫が「三種の神器」 時の人々は思ったこと

長崎県の教員の方から、右のような記事をいただきました。

でしょう。

多くの先人の学問的蓄積や技術的蓄積を受けて、現在の文明生活があることに感謝したいと思いました。

### 足踏み水車体験

浮田小児童

#### 先人の苦労学ぶ

岡山市東区沼の浮田

山陽新聞に左の記事が掲載されました。すると...



足踏み水車を使って用水路の水をくみ上げる児童

小5年生19人が20日、昔ながらの足踏み水車を使って学校近くの田んぼに水を入れる作業を体験した。先人の苦労や食の大切さを学ぶ狙い。

岡山 地元のボランティアが、かつて

総合的な学習の時間で米作りを学ぶ一環。10月下旬に予定している収穫作業も体験する。(松尾紗央)

を取りながら、交代で田んぼに水を引いた。田辺和登君(10)は「水車が止まりそうになると、もう一度回転させるのに